ダイアグラム が含まれている画像

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス

自動的に生成された説明

グラフィカル ユーザー インターフェイス, テキスト, アプリケーション

自動的に生成された説明

**初回起動時**

**ログファイルの初期パスはH:になっているのでご自分の環境に合わせて変更してください。**

**次回起動時は**

**ログファイル**

ログファイルはカンマ区切りのCSVファイルで構成されています。

1行目は変数名、2行目以降に値が記録されています。

変数の増減、変数名に制限はありません。ただしコース描画をするには時間、速度、角速度が必要になります。

CSVファイル例

ファイル名は**半角数字＋拡張子**で作成してください。

例

100.csv

cntlog,patternTrace,checkMarker,encCurrentN,encTotalN,angleSensor,modeCurve,gyroVal\_Z,angle\_Z,rawCurrentR,rawCurrentL,

7,11,0,1,11,-97,0,232,1,-18,-243,

17,11,0,9,73,-119,0,12,-2,-21,10,

47,11,0,18,512,-107,0,-277,-2,2,-123,

**コース描画**

コース描画には時間と速度、角速度の情報が必要になります。

MATLAB Appでは変数名で認識する事ができるのでコード内の時間、速度、角速度の変数名を修正してください。

App Designerを起動し、設計ビューからUIデザイン内の設定タブを開き、各式のテキストエリアを編集してください。

**注意事項**

1. 必ず変数名を最初に書く。
2. 演算子、数値の間は半角スペースを1つ入れる。
3. 使用できる演算子は乗算、除算のみです。

例

encCurrentN / 60.074 \* 1000

**初期フォルダ**

アプリ起動時に読み込むフォルダを設定します。

SDカードをマウントしたときのフォルダパスがおすすめです。